

## 第4回 学校運営協議会 議事録

開催日時：令和8年2月17日（火）

開会：午後1時20分 閉会：午後3時40分

開催場所：静岡県立伊豆総合高等学校土肥分校 視聴覚室及び応接室

出席委員数：5人

永岡 正人（会長・地域住民）

石橋 伸行（保護者代表）

勝呂 拓也（副会長・地域住民）

福室 元輔（学校の運営に資する活動を行う者）

涌田 温実（学校の運営に資する活動を行う者）

### 1. 学習発表会の見学

視聴覚室にて、生徒による学習発表会を見学した。

### 2. 校長挨拶

校長より、生徒の活動状況に対し、教員以外の外部の視点から必要な支援やアイデアをいただき、今後の学校運営の手がかりとしたい旨の挨拶があった。

### 3. 学校より近況報告

副校長より、以下の通り報告があった。

- ・生徒の状況：年度当初より45名全員が在籍を続けている。
- ・学校行事等：3月2日に卒業式、3月19日に終業式を予定。来年度の入学式は4月7日に実施される。1月に実施された百人一首大会は、小中一貫校との合同で実施され、盛り上がりを見せた。
- ・生徒の活動：日本情報処理検定協会の会長賞を受賞した生徒や、東部高校写真連盟の写真コンクールで受賞した1年生の活躍が報告された。
- ・地域連携活動：新規行事「フォトラリー」や、スルガ銀行の協力による「探究サイクリング（モニターツアー）」の様子が新聞やネットニュースで紹介された。

### 4. 協議（学校関係者評価および課題整理）

事前に実施された書面評価に基づき、評価が分かれた項目を中心に協議が行われた。

- ・規範意識とルール・マナー（項目ア-3）

（涌田委員）生徒アンケートの数値は高いが、下宿での生活（連絡の不徹底等）を見ると、日常的な生活ルールやマナーに課題を感じる場面がある。

（勝呂委員）自転車のヘルメット着用など、社会的なルールの遵守についても、自分自身で判断できるよう継続的な指導が必要である。

【結論】 成長は認められるが、社会で生きる力の育成を期待し、「B」評価で一致。

・ 基礎体力の向上（項目ア-4）

（涌田委員）1年生の体力が顕著に向上している点は評価できる。通学での自転車利用やフォトラリーでの長距離移動など、日常生活の中で体力がついている実感がある。

（福室委員）フォトラリーのコース設定には、地域住民との交流を増やすなどの工夫の余地がある。

【結論】 数値目標にはわずかに届かなかったため、次年度の工夫を促す意味で「B」評価とした。

・ 防災意識と知識の向上（項目オ-3）

（副校長）校内での避難訓練は実施しているが、地域防災訓練への生徒の参加人数が少ないという課題がある。

（永岡委員）地域の訓練日程を早めに共有できれば、下宿生などの参加を促しやすくなる。

【結論】 地域との連携不足を次年度の重点課題とし、「B」評価で一致した。

・ 全体を通じた意見交換

（福室委員）生徒会が公約として掲げた「スポーツ大会」を実現させた、生徒の自主性は高く評価できる。

（勝呂委員）地域住民からは「生徒の姿が見えると街が明るくなる」との声がある一方、交流の機会が限られているため、かつて土肥高校で行われていた「仮装行列」の復活や、地域を巻き込んでの海岸清掃など、地域と接点を持つ活動を実施してもらいたい。

（涌田委員）行事の開催曜日についても、配慮してもらおうようにするとよい。土曜日などに行えば、観光客の参加も見込める。イベントの企画・立案などには生徒が関与して、交渉なども行わせる経験をさせるとよいと思う。

5. 諸連絡

次年度も引き続き、学校の様子を直接見学できるよう、行事に合わせて協議会を開催する予定である。御協力をお願いしたい。

6. 閉会の挨拶

副会長より、1年間の協力への感謝と閉会の挨拶が述べられた。